標準装備品

■本体関係
●微速コントロール
●前照灯
●昇降ステップ（足廻り、キャブ）
●サイドミラー
●ガントリーシーブ給脂配管
●ケリーフレーム給脂配管
●電動式燃料ポンプ
●分解ジャッキ
●エアコン
●時計付AM／FMラジオ
●前面窓間欠ワイパー
●前面下窓及び天窓ワイパー
●ウィンドウォッシャ（前面窓）
●グリップアクセル
●ブロンズガラス
●フロアマット
●フットレスト
●シガレットライター
●灰皿
●水準器
●ハンガー（サイドフレーム吊冶具）
●標準付属工具
●標準予備品

■安全装置
●旋回ロック
●旋回警報（ブザー、フラッシャ）
●ブレーキ掛け忘れアラーム
●電動式ドラムロック（主巻、補巻、ブーム）
●エンジン停止時自動ブレーキ
●OKモニタ
●ブレーキペダルカバー（レバーと同色）
●ゲートロック
●フリーフォールインターロック
●フリーフォール表示灯
●中立時ネガブレーキ
●キー式解除スイッチ
●操作レバーロック
●ハウス上面ノンスリップシート

■フロント関係
●29mブーム（8+3+6+6+6m）
●19m×5段ケリーバ
●ブームバックストップ（シリンダ付）
●ケリーロープ（φ30×135m）
●ブーム起伏ロープ（φ20×165m）
●ブーム角度計
●ブーム過巻防止装置
●ブーム第2過巻防止装置

オプション装備品

■本体関係
●ラダー（本体後端右側取付）
●運転室側アンダーカバー
●サイドステップ（ハウス全周）
●天窓ガード
●ハウス上手摺
●N150型バッテリー（寒冷地用）
●ツールボックス
●ドラムミラー
●ドラムライト
●手動式スラスタレバー改造
●強力ヒーター（寒冷地用）
●サンバイザー
●マイク&スピーカ

■安全装置
●クレーン検査
　つり上げ荷重17ton
　つり上げ荷重34ton
●過負荷防止装置
●M／L外部表示灯（3色）
●旋回音声警報
●走行音声警報
●ドラムロック検出表示灯
●カメラ&センサ（後方監視用）
●親綱ポール

■フロント関係
●拡底工法用改造
●施工管理装置
●ロータリーテーブル
●ホースガイド
●バケット用アダプタ
●17tonフック（スイベルジョイント付、1本掛け）
●34tonフック（2本掛け）
●補巻ロープ（φ30×105m）
●フック過巻防止装置（補巻）
●ブーム背面ガイドローラ
●ブームスカイウォーク
●上部ブームユーザーネーム板

※オプション装備機

オフロード法2006年基準[少数特例]対応
97年基準低騒音型認定

日本車輌製造株式会社
https://www.n-sharyo.co.jp/
■建設機械本部／鳴海製作所／営業総括部
〒458-8502　名古屋市緑区鳴海町字柳長80番地　TEL（052）623-3312　FAX（052）623-4349

●本カタログに掲載の仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。●本機の取り扱いに際しましては取扱説明書の注意事項を必ずお守りください。
●お客様による本機の改造、他機器・機材の付加については保証範囲外としますので、必ず弊社にご相談ください。

■お取り扱い店

CAT.No.126B（このカタログの内容は2024年4月現在のものです）

日本車両
ゆとりある豊かな未来社会をめざして

ISO-14001 認証取得 JQA-EM4858
ISO-9001 認証取得 JQA-1232

NISSHA EARTH BOY

アースドリル アースボーイシリーズ ED8200H

国内最大級のアースドリル機
最大掘削深度　軸掘バケット：82m（フレーム下方位置）
※補助吊り能力をアップ

掘削能力を大幅に向上しつつ、
環境にも優しいアースドリル、アースボーイシリーズ

「ED8200H」誕生。

これを超えるものはいない

日車アースボーイシリーズに掘削深度80m超級の
アースドリル「ED8200H」を新たにラインアップ。
シリーズの兄貴分として、これまでの経験と実績をベースに
最大掘削深度：82mを可能とした。
安全性や環境性を追求した
アースボーイシリーズの最上位モデル。

作業能力

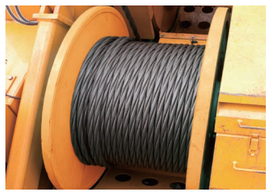
■掘削能力

また、バケットと連結するインナーケリーバは、合金鋼の削り出しによる一体成形（バー部材共）としており、へたりにも強く耐久性も高めています。

※ご要望により□サイズ、ピン数等変更可能です。

バケットの回転トルクは132kN·m（13.5tf·m）の高トルクを発揮し、大型の軸堀バケットや超大型の拡底バケットの施工が可能です。

■補助吊り能力 ※従来からアップしました。



補巻ドラム（補助吊り）ロープ径はφ30mm。
最大補助吊り能力　1本掛け時：17ton×9.3m
2本掛け時：34ton×7.4m

●能力の詳細については定格総荷重表をご参照ください。

■サブアクスル機構

定評あるサブアクスル機構が重装備の本体を支え、クローラ拡張時の安定性を高めます。

環境にさらに優しく…
オフロード法適合エンジン搭載

■オフロード法適合

パワフルでありながらクリーンな低公害型エンジンを搭載。
オフロード法に適合しています。【第3次基準値】

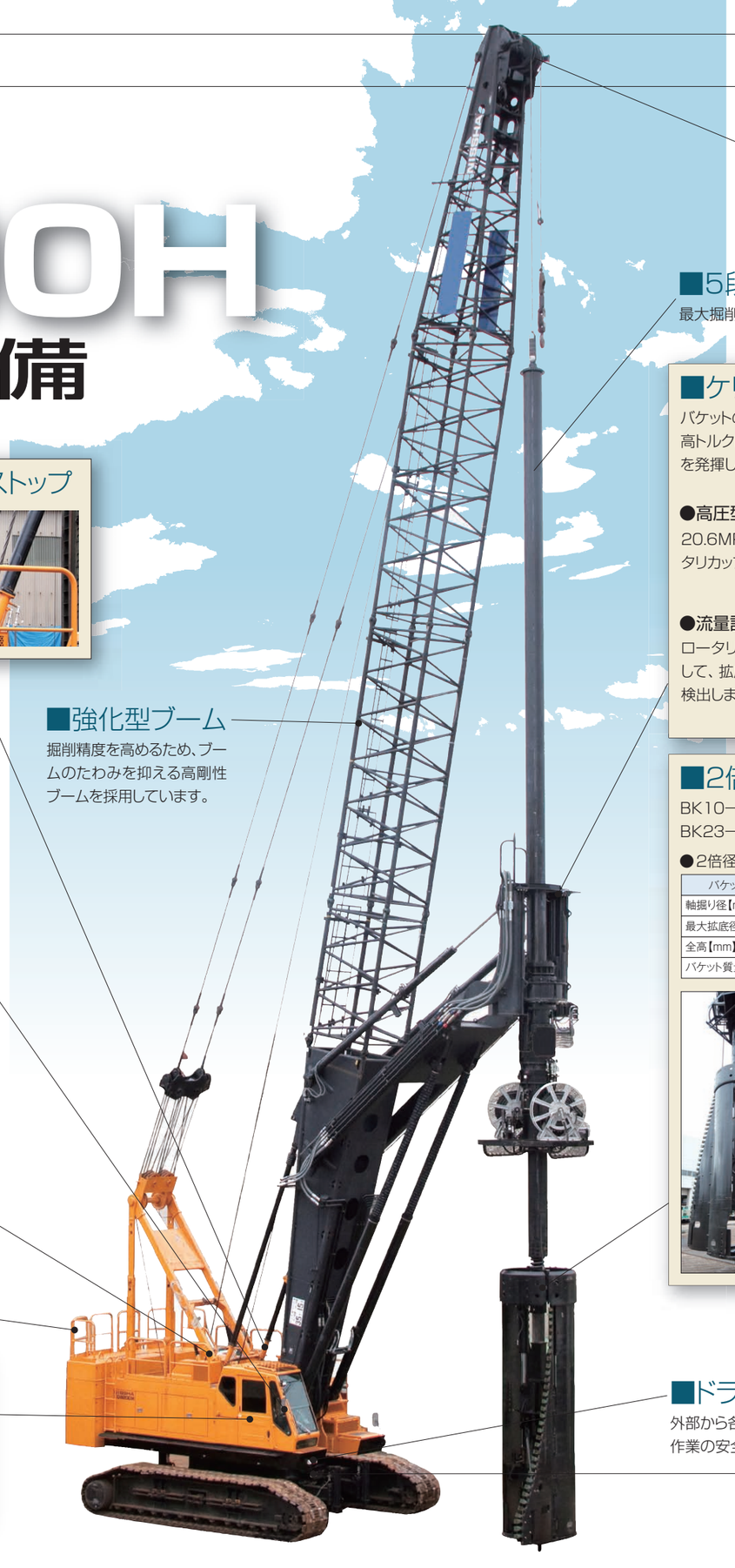
■低騒音型

国土交通省の定める低騒音型建設機械の基準値を満たしています。

少数特例基準

低騒音認定ワッペン

ED8200H
充実の機能と装備



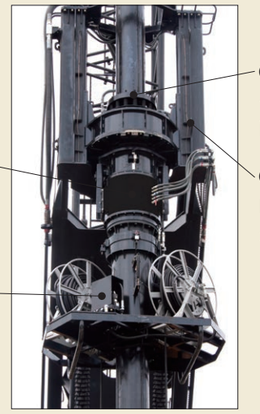
■ポイントシーブ
給油型の採用によりベアリングの耐久性が向上します。
また、補助吊り多本掛け対応可能なシーブ配置としました。

■5段ケリーバ
最大掘削深度82mを実現。

■ケリードライブ
バケットの回転トルクは
高トルク時:132kN·m(13.5tf·m)
を発揮します。

●高圧型ロータリカップリング
20.6MPaに対応可能な高性能ロータリカップリングを装備しました。

●流量計
ロータリテーブル上に流量計を設置して、拡底バケットの開閉量を確実に検出します。



●アッパバッファの大型化
ケリーバの緩衝用ゴムを大型化し、耐久性の向上を図りました。

●スラスタ用スライドプレート
MC ナイロンのプレートを採用し、耐久性を向上させつつ、集中給油タイプとしました。

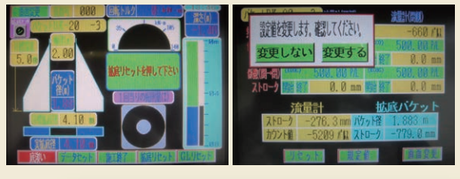
■2倍径拡底バケットシリーズ
BK10−Ⅲ〜BK23−Ⅲまでを新規にラインアップ。
BK23−Ⅲを装着し、最大拡底径φ4,700mmの施工が可能です。

●2倍径拡底バケット主要諸元

バケット形	BK10-Ⅲ	BK11-Ⅲ	BK12-Ⅲ	BK13-Ⅲ	BK14-Ⅲ	BK15-Ⅲ	BK16-Ⅲ	BK17-Ⅲ	BK18-Ⅲ	BK19-Ⅲ	BK20-Ⅲ	BK23-Ⅲ
軸掘り径【mm】	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,300
最大拡底径【mm】	2,100	2,300	2,500	2,700	2,900	3,100	3,300	3,500	3,700	3,900	4,100	4,700
全高【mm】	3,900	3,960	4,020	4,340	4,860	5,250	5,460	5,700	5,740	5,990	6,250	7,000
バケット質量【kg】	3,800	4,100	4,400	5,400	6,200	6,900	8,300	8,700	9,000	9,700	10,500	12,700

●バケットスタンド
省スペースな縦型タイプ。ケリーバとの連結も容易に行えます。

■拡底管理装置(オプション)
新型の大画面タイプに一新しました。



■油圧シリンダ内蔵バックストップ
バックストップシリンダの伸張により、スラスタの押し込み時にブームが持ち上げられるのを防ぎ、強力な押し込み力が発生します。これにより硬い地盤にも威力を発揮します。

■強化型ブーム
掘削精度を高めるため、ブームのたわみを抑える高剛性ブームを採用しています。

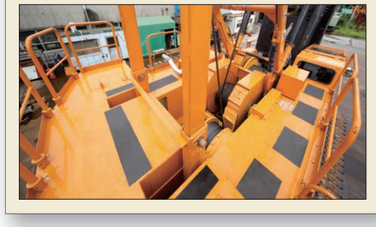
■操作レバーロック機構
ケアレスミス防止用に、操作レバーにロック機構を設けました。また、フリーフォールモードでは表示灯の点灯とアラームにて注意を促します。

■アクセルグリップ
旋回レバーには、軽い操作でエンジン回転数を制御できるグリップ式スロットルを装備。

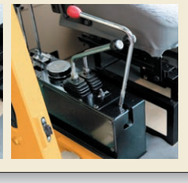
■カメラ&センサ(オプション)
目の届きにくい後方状況もカメラとセンサの2重装備により、容易に確認ができます。

■主巻ドラム
主巻ロープ径はφ30mm。
ハードな使用に応えるダブルブレーキを採用。

■ハウス上部手摺(オプション)
本体上での作業時転落防止と物品落下防止用に、ハウス上に巾木付の手摺を設けます。

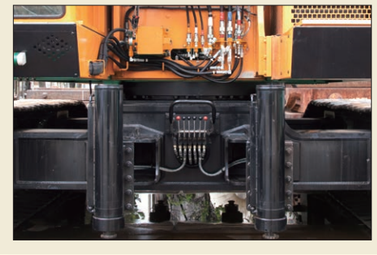


■ゲート式レバーロック機構
運転席右側サイドスタンドには、ゲート式のレバーロック機構を設けました。レバーを引き上げると、自動停止機能が働きます。



■ドラムロックの外部表示(オプション)
外部から各ドラムのロック状態が確認でき、
作業の安全性が高まります。

■クローラ分解用ジャッキ
分解輸送用ジャッキを標準装備し、クローラの着脱とトレーラへの積込みを容易にしました。



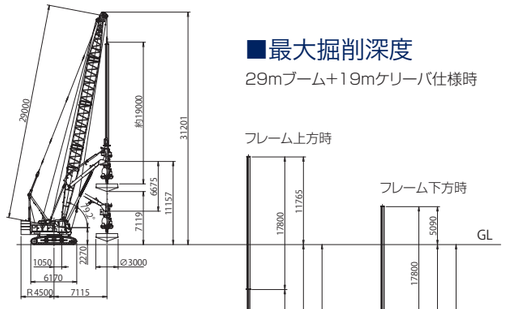
■本体仕様

ブーム長さ		29m, 26m
最大掘削深度（軸堀バケット使用）	フレーム上方位置	76m
	フレーム下方位置	82m
バケット回転トルク	高トルク時（正転／逆転）	132／132kN･m（13.5／13.5tf･m）
	低トルク時（正転／逆転）	68／68kN･m（7／7tf･m）
ケリーバ押し下げストローク		1000mm
ロープ径	主巻（バケット）	φ30
	補巻（補助吊り）	φ30
補巻クレーン能力	ケリーバ無し時	34tf×7.4m（2本掛け）
	ケリーバ有り時	17tf×9.3m（1本掛け）
作業速度	バケット回転数（高／低）	*16／8min^{-1}
	主巻（バケット）巻上・巻下（1速／2速）	*37／18m／min
	補巻（補助吊り）巻上・巻下（1速／2速）	*47／28m／min
	ブーム巻上・巻下	*46m／min
	旋　回	*3.4min^{-1}
走行速度（1速／2速）		*1.0／1.5km／Hr
輸送時登坂能力		40%
エンジン型式		日野J08E−TM（オフロード法適合）
定格出力		209kW（284PS）／2100min^{-1}
全装備質量（BK23−Ⅲを含む）		135t
平均接地圧		145kPa（1.48kgf／cm^2）

*印は、負荷により変化します

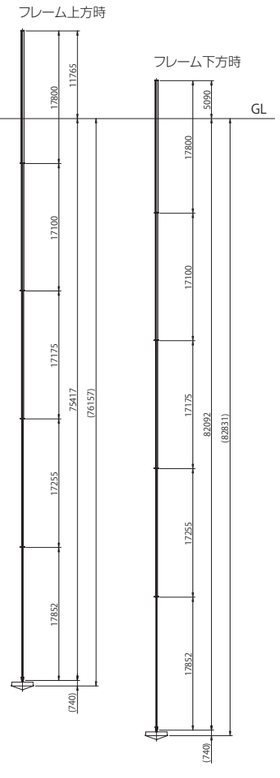
■最大掘削深度

29mブーム+19mケリーバ仕様時

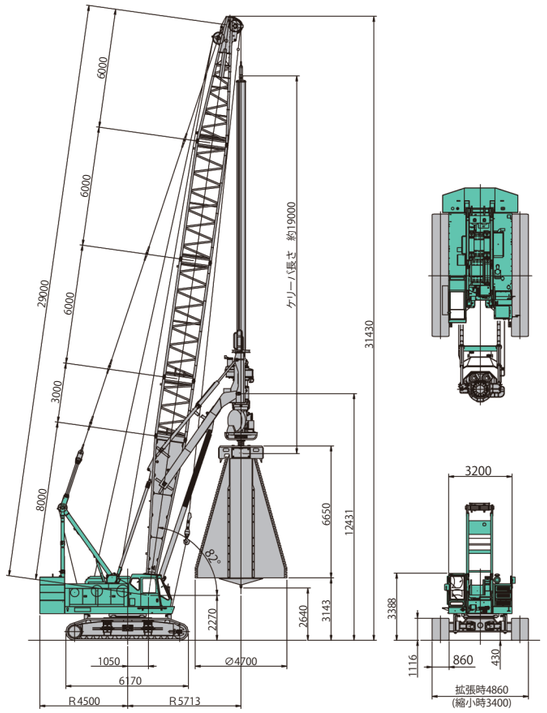


フレーム上方時

フレーム下方時



■本体外観図



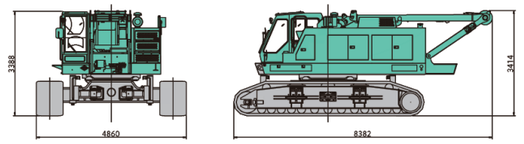
懐スペースが大きく大型拡底バケットの装備が可能。（図は2倍径拡底バケットBK23−Ⅲを装着）

■概略分解寸法及び質量

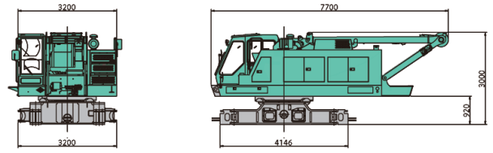
主要部品名		質量（t）	寸法（m）長×幅×高	備　考
本体	本　体	30.20	7.70×3.20×3.00	サイドフレーム、ジャッキ、カウンタウエイト、ブームを除く
	サイドフレーム　1個	9.60	6.17×1.14×1.12	左右
	ジャッキ　1個	0.39	1.40×1.25×0.45	4個
	カウンタウエイト（最上部）	8.10	3.80×1.25×0.54	
	カウンタウエイト（3段目）	8.10	3.80×1.25×0.54	
	カウンタウエイト（2段目）	8.10	3.80×1.25×0.54	
	カウンタウエイト（最下部）	11.00	3.80×1.25×0.83	
フロント	ブームロア	12.50	11.78×2.39×3.00	フロントフレーム、アッパロッド、起伏及び調整シリンダを含む
	ブームアッパ	2.08	6.53×1.52×1.70	ペンダントロープを含む
	3m継ぎブーム	0.69	3.15×1.52×1.72	ペンダントロープを含む
	6mロア継ぎブーム	1.18	6.15×1.52×1.72	ペンダントロープを含む
	6mアッパ継ぎブーム	0.97	6.15×1.52×1.72	ペンダントロープを含む
	ケリードライブ	8.24	4.17×2.45×2.17	ロータリーカップリングを含む
	ロータリーテーブル	1.45	2.32×1.65×1.77	
	ケリーバ	7.80	φ0.53×19.02	
	ブームバックストップ	0.29	φ0.19×4.69	2本
	34tフック	0.60	1.68×0.72×0.35	
	17tフック	0.14	1.60×0.29×0.20	スイベルジョイントを含む

上表は本機を輸送する際の分解質量の一例です。
本機をトレーラ等で輸送する場合は関係官庁の通行許可が必要となります。
また、輸送時の寸法・質量については関係法規に従い、ご確認の上輸送してください。

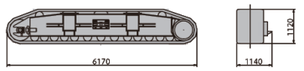
(1) 本体　51t



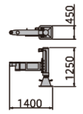
(1-1) 本体（サイドフレーム 無）　30.2t



(1-2) サイドフレーム　9.6t ×2

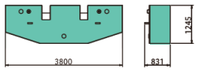


(1-3) ジャッキ　0.39t ×4

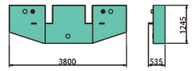


(2) カウンタウェイト

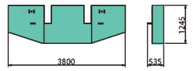
C／W(B)　11.0t



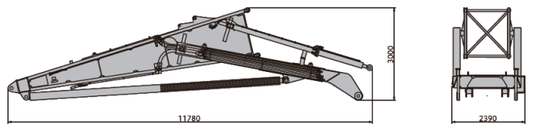
C／W(M)　8.1t ×2



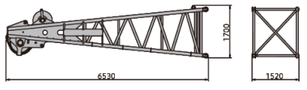
C／W(U)　8.1t



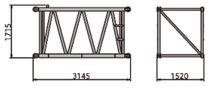
(3) ブームロア（フロントフレーム+アッパロッド+起伏シリンダ+調整シリンダ 含）　12.5t



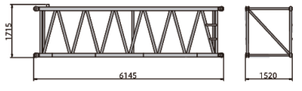
(4) ブームアッパ（ペンダントロープ 含）　2.08t



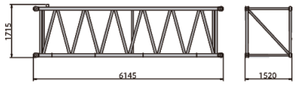
(5) 3m継ぎブーム　0.69t
（ペンダントロープ 含）



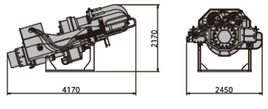
(6) 6mロア継ぎブーム　1.18t
（ペンダントロープ 含）



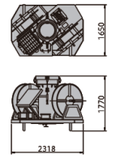
(7) 6mアッパ継ぎブーム　0.97t
（ペンダントロープ 含）



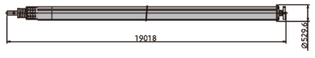
(8) ケリードライブ　8.24t
（ロータリカップリング 含）



(9) ロータリテーブル　1.45t



(10) ケリーバ　7.8t



(11) ブームバックストップ　0.29t ×2

(12) フック

34tフック　0.6t

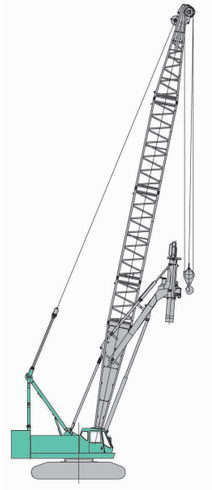
17t補助フック　0.14t

■クレーン定格総荷重表（オプション）

注意事項

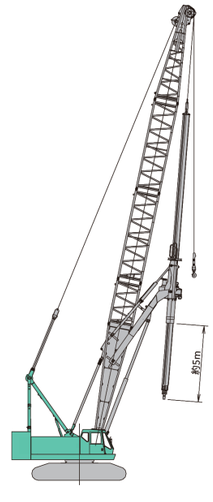
1. 1本掛けクレーン作業は、必ずバケットを取外して下さい。フレーム調整シリンダをフリーにして、フレーム起伏シリンダを最長まで伸ばし、次にフレーム調整シリンダを固定して、ケリーバ下端を駆動装置下端より5m位下げた状態で行なって下さい。
2. 2本掛けクレーン作業は、必ずバケット及びケリーバを取外して下さい。フレームがブームに干渉しないように、フレーム調整シリンダで調整しながらフレーム起伏シリンダを最長まで伸ばした状態で行なって下さい。
3. クレーン作業時はケリードライブを一番下まで下げた状態で行って下さい。（フックとケリードライブが干渉します。）
4. 定格総荷重表以外の範囲では作業を行なわないで下さい。
5. 定格総荷重は水平堅土における値で、転倒荷重の78%以内を示します。
6. ロータリテーブルを装着した場合は、テーブル無しの定格総荷重の値から1.5tを差し引いた値になります。
7. ロータリテーブルを装着した場合は、必ず横長方向でロック状態にし、回転させないで下さい。（テーブルが起伏シリンダに干渉します）
8. ロープ掛数に対する最大巻上荷重とフック質量は以下の通りです。

フック容量	フック重量	定格総荷重の最大値（ton）	
		2本掛	1本掛
34ton	600kg	34	
17ton	140kg		17



●2本掛け定格総荷重表

作業半径（m）	ブーム長（m）	
	26	29
7.2		34.0
7.3		34.0
7.5	33.4	33.4
8.0	30.1	30.1
8.4	28.0	28.0
9.0	25.0	25.0
10.0	21.1	21.1
12.0	15.8	15.8
14.0	12.2	12.2
16.0	9.6	9.6
ブーム角度（°）	55.6～76.4	59.6～78.4



●1本掛け定格総荷重表

作業半径（m）	ブーム長（m）	
	26	29
7.5		17.0
7.75	17.0	17.0
8.0	17.0	17.0
9.3	17.0	17.0
10.0	15.0	15.0
12.0	10.7	10.7
14.0	7.5	7.5
16.0	5.2	5.2
ブーム角度（°）	56.4～76.4	60.3～78.4